

あなただけのライフプランを描いてみませんか?

岡山県では、出会い・結婚・妊娠・出産・子育てに寄り添いサポートしています。

人生には、さまざまなイベントが訪れます。自分に向き合って、あなたの未来、あなただけの「ライフプラン」を描いてみませんか。結婚や子どもを持つことは、個人の生き方や価値観に基づいて選択されるものであることは言うまでもありませんが、結婚や出産などのライフプランを具体的に描いてみることで、新たな未来が見えてくるかもしれません。ライフプランを描くときの参考にしていただけならと考え、岡山県の出会い・結婚・妊娠・出産・子育てをサポートする取り組みをご紹介します。

結婚相手にめぐり合えない

20～34歳までの独身者の**45%**の人がめぐり合えないと回答しています。
出典：岡山県いせい子どもプラン県民意識調査
出会いのきっかけは、友だちや知人の紹介**約30%**
職場や仕事関係での出会い**約30%**
出典：第14回出生動向基本調査

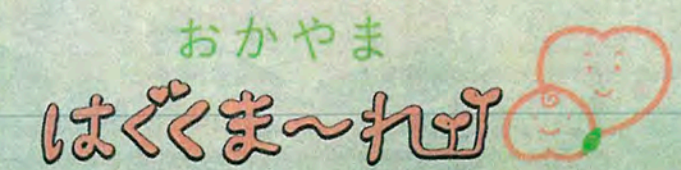
そろそろ結婚を考えたい

独身者の**約9割**の人が「いずれ結婚するつもり」と回答しています。
出会いから結婚までの平均交際期間 **4.3年**
出典：第14回出生動向基本調査

結婚っていいよ

20～49歳までの既婚者の**約7割**の人が結婚は「したほうがいい」と回答しています。
出典：岡山県子育て家庭環境調査

岡山で安心して結婚、妊娠・出産、子育てするための情報ポータルサイト



岡山で安心して、出会い・結婚、妊娠・出産、子育てをしていただけるよう、サポートや支援施設をまとめてご紹介しています。

詳しくはHPで
おかやま はぐくま〜れ! 検索

子どもがほしいな、妊娠や出産についてもっと知りたい

20～34歳独身男女で妊娠と年齢の関係について正しく知っている県民の割合**50.2%**
出典：岡山県いせい子どもプラン県民意識調査

赤ちゃんの誕生が楽しみ! だけど、妊娠中のことも出産もちょっと不安...

妊娠・出産から、女性のからだとお腹の相談を幅広くお受けしています!

女性のからだはデリケートで、妊娠・出産により劇的に変化しています。つわりや切迫早産などの気になるからだの症状や心の不調、悩みはありませんか?
また、妊娠・出産・中絶に関する経済的な不安や妊娠のことを誰にも相談できないなどの悩みを抱えてはいませんか?
相談員は、一人ひとりに寄り添いながらお話を聞き、相談内容に合わせて、相談される方が最も納得できる答えにたどりつけるよう、ともに考えるなど、細やかな対応をさせていただきます。
相談は、メール・電話・面談でお受けしていますので、お気軽にご相談ください。

岡山県不妊専門相談センター
不妊症や不育症の専門的な相談に応じます。
☎086-235-6542 funin@cc.okayama-u.ac.jp
●相談日時などについては、「おかやま はぐくま〜れ!」でご確認ください。

出会いのきっかけをお手伝い 出会い・いい結婚を応援

結婚しない要因は仕事や経済的理由、異性との接し方が分からないなどさまざまあります。それでも「異性と出たい」「結婚したい」と思っている人は少なくありません。おかやま出会い・結婚サポートセンターは、出会いを求める人をサポートし、出会い・結婚の機会を作っていく場で、いい出会いを作り、すてきな結婚をしようとする人をサポートしています。
中でも主要な役割を果たしているのが「縁結びサポーター」。自分の周辺や地域で出会いに悩んでいる人の相談に乗る、その人の希望に合った異性を他のサポーターの相談者から見つけマッチングする役割を担っています。
現在約100人が県知事に認定されサポーターとして活動していますが、まだまだ増えてほしいと思っています。出会いや結婚に「お節介」を焼く人が少なくなっている今、純粋に「結婚したい人」を応援したい」というサポーターの存在は重要です。
出会い・結婚へ導いてくれる人がいることで、安心して結婚できると思います。
これからも「お節介」を焼くことで出会い・結婚を求める人を応援していきます。

おかやま出会い・結婚サポートセンター
☎086-236-0802
ボランティアで出会いの相談や紹介、修学など、ちょっとしたお節介をしていただく縁結びサポーターの養成や、結婚希望者に相談、メルマガ等による情報提供、スキルアップ研修を行っています。現在、縁結びサポーターやメルマガ会員を募集しています。

県の婚活イベントから結婚へ 些細なきっかけが運命の出会いに



知人から県の婚活イベントをすすめられ、何気なく参加。趣味や話が合ったことや互いに優しい雰囲気ひかれ交際、結婚に至りました。イベントに参加するまでは、「このまま結婚しないのかな」と考えることもありましたが、些細な行動ときっかけで人生が変わるんだと実感しました。県のイベントということもあり、安心して参加できたことも出会いのきっかけだと思います。
結婚して感じることは、一人ぼっちじゃない、一緒にがんばってくれる人がいること、心強さです。自分ではどうにもならないことを互いにサポートできたことで、これまで困難もいくつか乗り越えて来られました。
「幸せは倍に、苦勞は半分に」、まさにそんな結婚生活を実現していると思っています。

感謝し合う気持ちを大切に ともに人生を歩んでいく



岡山県の実ドラマムービー「大切な伝言」動画公開中!
岡山県在住のご夫婦に、今日までの道のりや心に抱いた想い、をインタビュー。言葉にできない百恵、伝えきれない想い、本当に大切な人から、「おかやまはぐくま〜れ!」からご覧ください。

未婚化・晩婚化・晩産化の進行

岡山県の生涯未婚率は、男性も女性も最近の10年間で約2倍に、平均初婚年齢、第一子出産時の母親の年齢も上昇しています。

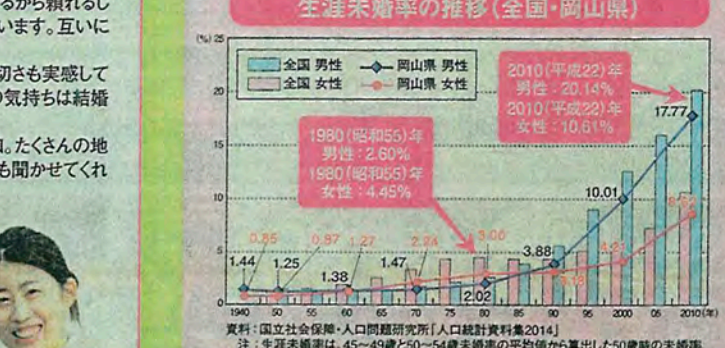


Table with 2 columns: Category (Average age at first marriage, Age at first childbirth), and 2 rows: Heisei 26, Showa 55. Data for Male and Female.

大切な伝言
岡山県の実ドラマムービー

共働き夫婦にとってなくてはならないサービス。いつも助けられています

現在2歳半になる子どもは保育園に通っていますが、急な熱や病気で登園できない時、夫婦で仕事をしているとなかなか休めないのが現実です。そんな時によく利用させていただいているのが、株式会社小児科病院が併設している病児保育室「ほっとチュッピー」。事前に予約しておくとお昼の朝まで診察していただき、一日病児保育室で見てくださいます。必要な処置もしていただけるので初期の風邪などはおかげで早く回復することも多いですね。保育士さんの保育も丁寧で、体温や食欲、機嫌など子どものその日の一日の様子をきちんと報告して下さるので安心できます。子どもも遊べることなく

病児保育事業、働くおとうさん・おかあさん応援事業
乳幼児や児童が、発熱や感染症などの病気にかかり、保護者の方の勤務の都合などで看病できない場合に、一時的に預かり、保育看護を行います。(県内35カ所)

親同士のコミュニケーションで 育児の悩み・不安も軽減

乳幼児とその保護者が、遊んだり、くつろいだりできる場所として県内各地に開設しているのも「こどもステーション」。子どもの友だちづくりだけでなく、保護者同士のコミュニケーションの場としても活用されています。0～2歳児の不安や悩みで子育てする人が多く、育児の不安や悩みを一人で抱え込んでしまうことも。ここでは育児の休憩所として保護者を支援しています。
真庭市落合ののもっこステーション「NPO法人子育て支援の会 サポートあ」を利用する尾崎綾さんは「県外からこちらに来て、知り合いもおらず子育てに息詰まる気持ちでした。ここを利用してから同じ悩みを持つお母さんと仲良くなり、悩みを打ち明けられることでとても気持ちが楽になりました」と言っています。「小さな子どもに優しくするなど、わが子の成長も見えてうれいです」と子どもたちの心の成長にも一役買っています。

のもっこステーション(地域子育て支援拠点)
地域の身近な場所で親子が気軽に利用できる場(交流、相談など)として、保育所や児童館、公民館や大学など、いろいろな場所で実施されています。(県内175カ所)

子どもが病気の時 しよう

相談できる人がいたらいいな
育児に自信がなくなることが「よくある」「時々ある」と**71.1%**の人が回答しています。
出典：岡山県いせい子どもプラン県民意識調査
子育ても仕事もがんばりたい
職場の理解や家族の理解と協力が必要と**約7割**の人が回答しています。
出典：岡山県いせい子どもプラン県民意識調査

「息抜き」と「子育ての学び」が両方得られ、母親も子どもと一緒に楽しめます

倉敷市立短期大学が、地域の子育て支援を目的に開設している子育てカレッジ「倉敷ひろばくららこ」。保育士を目指す学生、保育スタッフが中心となって、就学前までの子どもとそのお母さんを対象に、親子で楽しめる親子交流広場事業を実施しています。
「遊びのほかに、子育て相談や食育の取り組みなどいろいろなプログラムを用意されていて、親も一緒に成長させてもらえる場。初めての子育てに不安を感じていましたが、子どもへの接し方など育児のちょっとしたコツも教えていただけるので気持ちラクになりました。お母さん同士の交流も息抜きになりますね」と利用者のお母さん。
一方学生さんは、保育スキルを身に付ける貴重な実践の場にもなっており「子どもたちの発達の様子を見守りながらお母さん方の気持ちにも寄り添ってきたい」と話します。

おかやま子育てカレッジ
大学生などが参加して、親子交流や地域の子育て支援関係者の情報交換などを実施しています。(県内14カ所)

家庭の中で見てくれる安心感 受け入れ家族も楽しんで育児

夫婦ともに仕事で忙しく、頼れる人もあまりいなかったため、力を借りられたらとファミリーサポートに登録しました。「育児の先輩」が家庭の中で家族と一緒に子どもを見てくれるので安心してます。提供会員の家の入さんの優しい人柄もあり、今では親のように信頼して預けています。育児負担が軽減されただけでなく、心が通い合える人間関係が築けたことが何よりもよかったです(依頼会員：前田聡美さん)。
主婦として何かできることはないかと考えていたとき、ファミリーサポートを知り、子育ての延長という気持ちで始めました。お子さんを預かるときは安全を第一に

ファミリー・サポート・センター
乳幼児や小学生の児童が、子育て中の方や主婦が会員として登録、児童館からの連絡を受けることで希望する方と、面接を行う。ご希望の方との相互連絡活動の連絡、調整を行います。(県内15市町)

地域や企業など、みんなで子育てを応援しています!!

おかやま子育て家庭応援カード「もっこカード」
協賛店でカードを提示すると、いろいろな子育て応援サービスを受けることができます。さらにお得なサービスが受けられる3人以上のお子さんがある世帯向けの「多子世帯用もっこカード」もあります。お住まいの市町村の児童福祉担当窓口で申請する交付されます。
[交付対象]県内在住の妊婦の方、小学就学までの児童を持つ家庭
おかやま子育て応援宣言企業
企業などに従業員や地域の子育てを応援する「子育て応援宣言」をしてもらい、県が「おかやま子育て応援宣言企業」として登録する事業です。ユニークな宣言や模範となる取り組みは「おかやまはぐくま〜れ!」で紹介しています。